

令和6年度（2024年度）第3回東海市男女共同参画審議会 会議録

- 1 日時 令和7年(2025年)1月22日(水)午後2時から3時40分まで
- 2 場所 東海市役所603会議室(6階)
- 3 出席委員(12名)
会長 末盛 慶、会長職務代理 金子 典代、上尾 久美子、早川 直義
松田 剛、蟹江 晃男、大村 景子、荒木 映、早川 純子、加藤 龍子
加来 恵子、蟹江 眞由美
- 4 欠席委員(0名)
- 5 公開、非公開の別
公開
- 6 傍聴者数
0人
- 7 会議日程
 - (1) 開会
 - (2) 委員紹介
 - (3) 会長の選出及び職務代理者の指名
 - (4) 議題
 - ア 「男女共同参画プランⅢ」の取組み状況について【資料1】
 - イ (仮称)男女共同参画プランⅣについて
 - ㍑ 骨子案について【資料2】
 - ㍒ 施策体系案について【資料3】
 - ㍓ 成果指標案について【資料4】
 - ㍔ (仮称)男女共同参画プランⅣの基準値アンケート等の実施案について【資料5】
 - (5) その他
令和7年度(2025年度)第1回東海市男女共同参画審議会の開催予定
令和7年(2025年)6月

(6) 閉会

8 会議内容

(1) 開会

(事務局)

ただいまより、令和6年度第3回東海市男女共同参画審議会を開催する。
まず、委員名簿の順に自己紹介をお願いします。

(2) 委員紹介

(末盛委員より自己紹介)

(担当職員の紹介)

(事務局)

今回、計画策定の支援をいただいている株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所の鈴木氏にも同席いただく。

(事務局)

会議資料を事前に郵送しているが、お手元に届いているか。では、次第に沿って順に進めていく。次第(3)会長の選出及び職務代理者の指名に移る。

(3) 会長の選出及び職務代理者の指名

(事務局)

審議会規則第2条第1項の規定に会長の選出については委員の互選で定めること、また、規則第2条第3項において、会長不在の場合の職務代理者についてはあらかじめ会長が指名することとなっている。

はじめに、委員の互選により会長の指名をお願いしたい。会長の選出方法についてはどのような方法が良いか。

(早川純子委員)

指名推薦が良いと思われる。学識経験者として、以前より東海市男女共同参画審議会に関わっている末盛委員を推薦する。

(事務局)

早川純子委員より末盛委員を推薦する発言があったがいかがか。

(一同異議なし)

(事務局)

それでは、会長は末盛委員をお願いします。末盛会長よりご挨拶いただきたい。

(末盛会長)

この度、本審議会の会長を謹んで引き受けさせていただく。よろしくお願
いする。

皆さんご存じだと思うが、ジェンダーギャップ指数というものがある。1
年に1回発表されているが、最新の2024年データで、日本は146か国
中118位でかなり低い結果であった。健康と教育の平等度のスコアは高く、
雇用と政治のスコアがとても低い。国会の中継を見ていると高齢の男性が多
い印象があり、日本のジェンダー課題と言える。経年でみると、依然100
位以内であった。徐々に下がってきた要因としては、海外の取組が進み、日
本が遅れをとっている状況が考えられる。この審議会は、東海市の方々のだ
れもが住みやすく、心地よく過ごしてもらうことを目的しているため、皆さ
んの意見をいただきながら住みやすい町にしていければと思う。よろしくお
願いする。

(事務局)

それでは、以降の会議進行は末盛会長にお願いする。

(末盛会長)

これより私が会議を進行させていただく。よろしくお願いする。

会長不在の場合の職務代理について、あらかじめ会長が指名することにな
っている。学識経験者であり、ジェンダー平等について理解も深い金子委員
に引き続き職務代理をお願いしたいと考えている。ご承諾のほどお願いする。

それでは、金子委員は職務代理席へご移動願う。職務代理から挨拶をお願
いする。

(金子委員)

前回に引き続き、職務代理を任命いただき感謝する。私は、大学の看護学
研究科で看護師や保健師の養成をしている。女性が強いと思われがちな分野
ではあるが、看護職等で政治的な部分で出ようと思う若者は少ない。変わっ
てきて良くなっている部分もあると思うため、東海市がより住みやすい町に
なるよう議論できればと思う。

(末盛会長)

それでは議題に入る。

(4) 議題

ア 「男女共同参画プランⅢ」の取組み状況について【資料1】

(資料に基づき事務局より説明)

(末盛会長)

情報量が多いためどこからみていいかというところもあると思うが、この男女共同参画プランⅢは、幅広い事業を包含しており、「主管課」の欄を見ていただくと様々な課が関わってくるのがわかる。多くの事業が継続となっており、国の政策動向や情勢の変化により加除をしているということだが、市民目線で気になる点やわからない事業があればこの機会に発言いただきたい。

(大村委員)

9 ページの抗体価検査及び予防接種の実施が令和7年度に廃止になるということだが、風しんの予防接種はほぼ100%できているということか。

(末盛会長)

これは国の動向が関連するため、東海市だけではなく、他の市町でも同じ対応であると思う。

(事務局)

廃止という点は末盛会長の発言の通り横並びの対応と考えられる。しかし、本市で一体どこまで進んでいるかは事務局として把握しきれていない部分がある。主管課としては、一定の効果を得たという表現をしている。年度ごとの事業の進捗になるため、年度締めに伴って件数や市の割合などが確定すると思う。令和7年度の審議会の中で前年度の事業の実施経過としてご案内させていただく。

(末盛会長)

他にはいかがか。

(松田委員)

資料2 ページの子育て支援情報提供事業でこの度、令和7年度には子育てガイドブックを作成すると変更されている。子育て応援情報誌等の廃止が過去にあったが、これまでのガイドブックとの違いや有料広告制度の継続等の工夫はされているのか。

(事務局)

年度ごとに作成にあたって工夫はしていると思うが、一定の成果と課題があり、やり方を変更してきた。今までの工夫について、次年度以降どのように継続していくかという視点と、新しいガイドブックをどのように効率的・効果的に配布できるかという視点も踏まえて検討が必要と考える。

担当はこども課だが、内容については男女共同を取り上げて掲載することもあると考えるため、情報収集しながら令和7年度の審議会の中でご案内させていただく。

(末盛会長)

他にはいかがか。

(加藤委員)

今まで子育て通信は7, 800枚ほど配布していたと思うが、それがアプリになるなど、様々な見直しにより時代のニーズに沿うよう変革してきた。その中でも、通信の中に男女共同参画とは何かということを入れていたと思う。入れ方も当初は、「男女共同参画とは」として、こういったことを子育てで意識しているか、家庭環境を整えているか、ワーク・ライフ・バランスなど様々な視点で落とし込んできたが、昨今は男女共同参画という言葉が堅すぎるということでオブラートに包んだ表現で載せている。令和7年度からのガイドブックでもそういった内容のものが掲載されるということか。

(事務局)

内容は今までの部分を踏襲しながらではあると思うが、現在どの程度精度設計しているのか共有されていない部分もある。ガイドブックは、情報発信の媒体の1つとして活用できるものだと認識しているため、こども課と共有しながら効果的な情報発信ができればと考えている。

(加藤委員)

プランⅢの進捗をみても、家庭の男女共同参画が改善されていない部分が多くあるので、ぜひ願います。

(末盛会長)

こういった何気なく目にする記事が人々の考えを変えていくと思う。他にはいかがか。

パパ広場については、これまで母親も参加していたが、父親とこどもだけの参加にするなど様々な工夫をしながら進められているという印象を受けた。

それでは次の議題に移る。

イ (仮称) 男女共同参画プランⅣについて

㍿ 骨子案について【資料2】

(資料に基づき事務局より説明)

(末盛会長)

東海市の実態に触れながらの説明だったがお気づきの点等あれば発言いただきたい。印象的な数値もいくつかあったと思うがいかがか。

13ページの市議会議員が残念な結果となっている。選挙なので仕方がないが、どのような状況か。

(事務局)

市議会議員は4年の任期となっており、令和4年で大きく低下している結

果となっている。立候補者の中にどれくらい女性がいたか、選ばれた方がどなたの政策を選んだかの結果だと考える。

(末盛会長)

審議会委員についても数値が下がっているのか。

(事務局)

審議会委員についても、女性委員の割合の推移は微減している。この結果は我々の力不足いうところもある。本審議会は条例の中で男女割合がうたわれているが、他の審議会については設定されていない。旧態依然として審議会委員が構成されているところがあるということが結果として表れていると認識している。情報発信をしながら、全庁的に意識を高めていく必要があると感じている。

(加藤委員)

審議会における女性委員の登用率は目標として 32%を掲げていた。令和に入り登用率があがってきたと思ったところでこの数値はどういったことか。どの審議会委員においても公募枠が設けられている。平成6年頃から30%以上を目指していた。当時の数値から見ても落ち込んでおり、公募枠をどの審議会でも入れるようにすれば、最低でも6：4で調整できるのではないかという思惑もあった。行政努力の部分でも審議会は踏み込める部分であると思う。昨今は、男女共同参画の当たり前という意識があると言われてはいるが、こうした男女共同参画の審議会や取組が依然として根強くあるということは、根底の部分が改善しにくい証だと思う。意思決定などの審議会の場が一番テコ入れできる部分だと考える。抜本的な見直しを積極的に図っていただきたい。なるべく右肩上がりになるように強く要望する。

(早川純子委員)

女性がいない審議会もあると以前うかがった。

(加藤委員)

農業委員会等は難しいと聞いているが、女性も多くなっている。

(大村委員)

どの方をいれるかは地域によって違う。農家をやっている方は高齢の方も多く委員まではできないということもある。

(事務局)

市民協働課としては、各課に各審議会における女性委員登用の推進を通知してきた。引き続き、登用の促進方法を検討していく。

(末盛会長)

この結果を添付しておくとも良いかもしれない。せめて愛知県の平均は上回りたい。

その他にはいかがか。

東海市のデータをみると、男性は正規雇用が多く、女性は非正規雇用が多いことなども興味深いと思った。

(仮称)プランⅣは10年間の計画となるため中長期的な意見もいただきたい。

個人的な見解だが、(仮称)プランⅣの中には審議会の委員や市議会議員については注視していくなどと表現しても良いのではないかと考える。

次の議題に移る。

(イ) 施策体系案について【資料3】

(資料に基づき事務局より説明)

(末盛会長)

施策体系案についてご報告があったが、何かお気づきの点はあるか。

(早川純子委員)

推進内容の③と⑤に「高齢者」を入れたと説明があった。まさにそこへの理解は必要だと思うが、具体的に進めていくことの考えはあるか。

(事務局)

(仮称)プランⅣ策定にあたって調査をする中で、高齢者の方々への働きかけや周知啓発が必要だとわかった。今後、推進内容を固めていくなかで、事業の検討もしていきたい。

(末盛会長)

知多市では何かあったりするか。

(早川純子委員)

知多市は、高齢者への啓発は難しいということで、高齢者より若者に力を入れていく方向性になったため、あえて今回の(仮称)プランⅣで高齢者を入れたことがすごいと思った。

(加藤委員)

基本目標3を誰もが多様な「家庭生活」と表現を変更するという説明だったが、なぜか。

(事務局)

人によって捉え方は様々あるが、庁内の会議で「生き方」とすると間口が広いのではないかと指摘があった。条例に基づき検討を進める中で適当な表現と考え変更している。

(加藤委員)

「家庭生活」では、なんとなく狭めてしまっている気がする。この表現で

収まるかという懸念もある。

(事務局)

表現についても引き続き調整、検討していく。仮にこういった表現が良いといったご助言のようなものがあれば参考にさせていただきたい。

(末盛会長)

他にはいかがか。

(金子委員)

私は多様な性の部分が専門なので、施策が加わり、このような形で推進できると思った。

(末盛会長)

10年間の計画と考えると、先ほどの加藤委員のおっしゃった「生き方」という表現の復活も考えられる。同性婚が法制化される可能性もあるため家庭や働き方も具体的で良いと思うが、「生き方」という表現も一つかと思った。

では、次の議題に移る。

(ウ) 成果指標案について【資料4】

(資料に基づき事務局より説明)

(末盛会長)

成果指標とは、東海市では毎年3,500人前後にアンケート調査を行っており、そのアンケート結果を成果指標としながら数字を追いかけて施策を推進している。調査で何を聞くのかによって成果の見方が変わってくるため、成果指標を設定することは重要になる。10年間のプランの途中で変更することは難しいところもあるためこの段階である程度固めておきたい。何かお気づきの点があればお願いしたい。

(加藤委員)

偏見だと思うが、成果指標案⑮は「女性問題相談窓口」という表現になっているが、捉えようによっては不倫に関する相談窓口という印象を受け、男性のための窓口かと思ってしまった。「女性のための」や「女性専用」のといった表現が良いのではないか。わかるように表現を変えていただきたい。

(早川純子委員)

地域開発みちの会は愛知県の男女共同参画の研修を受けた人で構成されているが、設立当初の研修は「女性問題一」という名称だった。

(加藤委員)

いつまで女性に特化しなければいけないかとも思うが、そこも鑑みて文言

の見直しをお願いします。

(事務局)

女性のための相談窓口といった表現が他府県でもあるため、誤解を招く表現は避け、担当課と調整、検討して修正をする。

(末盛会長)

他にはいかがか。

(松田委員)

基本目標3の施策6の成果指標案について市内の事業所内に対する働きかけと理解したが、指標の順番として事業所に関する指標を先頭にした方が良いと考える。

(事務局)

ご指摘の通り修正する。

(松田委員)

細かいところになるが、資料3の「主な推進内容」は枝番で丸印の数字を活用しているが、資料4と統一されていないため比較しづらかった。

(事務局)

資料の作成については、以後、整理、改善していく。

基本目標3の施策6職場における女性活躍・男女共同参画の推進だが、松田委員のご意見を参考にさせていただくと、市民アンケートの指標が最初だと良いと考えている。⑩が職場において男女平等と考える市民の割合、⑪が女性の管理職がいる事業所の割合、⑫が市の管理職に占める女性職員の割合と修正するのはいかがか

(早川純子委員)

市がお手本となるという意味もあつての順番かと考えていた。

(事務局)

そういった視点で確認しきれていない部分もあるため、今後、調整、検討していく。

(末盛会長)

他にいかがか。どんなことでも結構である。

次の議題に移る。

(エ) (仮称)男女共同参画プランⅣの基準値アンケート等の実施案について

【資料5】

(資料に基づき事務局より説明)

(末盛会長)

調査開始期間が2月下旬から3月上旬ということで日にちが近い。もしかすると皆さんの手元に届くかもしれないという点も含めて、何かお気づきの点はあるか。

(早川純子委員)

事業所アンケートの対象のところでは本年12月1日現在とあるがどうか。

(事務局)

参考として、12月1日現在の事業所数を記載しているが、対象者の抽出は、令和7年2月1日現在を条件とする。

(早川純子委員)

7ページか9ページにパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度についても注意書き等をいれていただきたい。

(末盛会長)

制度を知っていただく機会にもなるため入れた方が良い。

他にいかがか。

(松田委員)

5ページの間15だが、設問が読みにくいのでもう少しシンプルな表現が良いと思った。「あなたは家庭で家事について家族で協力していますか」と違和感があり、「あなた」だけのことを聞くなら「あなたは家事について協力していますか」が良いのではないか。もし、「家族」のことを聞いているのであれば、「あなたの家族は家事について協力していますか」が良いのではないかと考えるがいかがか。表現はおまかせする。

(事務局)

その通りだと考えるが、プランⅢの指標であり、表現を変更した結果が数値にどうでるか懸念される。継続性を優先した表現となるかもしれないが、一度検討させていただく。

(大村委員)

問7「あなたは同居のお子さんがいますか」は、私の場合、「いる」と回答した場合、子どもが成人しているため、問7-1の選択肢がどれもあてはまらない。

(事務局)

この設問は、資料4の成果指標案⑧「多様な保育ニーズに対応できる場所があると感じている18歳以下の子どもを持つ人の割合」に関連する設問となっている。ただ、対象となる方によっては、回答できない場合があるため、選択肢を調整する。

(松田委員)

11ページの用語の説明だが、こちらも目を通してアンケートを回答する立場からすると、この先に記載用語が出てくるのかと思ったが、男女共同参画とセクシュアル・ハラスメントに関する設問のみだったため、11ページの利用の説明の表題は「男女共同参画に関する用語の説明」などとするのが良いのではないか。

(事務局)

そのように修正する。

(末盛会長)

複数の目で確認する貴重な機会だと思うが、いかがか。

フォントが小さいように感じる。特に選択肢の囲みの部分が10ポイントか10.5ポイントだと思うが、対象年齢幅を延ばすのであれば文字の大きさも考えた方が良いのではないか。

(加藤委員)

行政から出す文書は12ポイントが標準だと聞いたことがある。

(事務局)

おっしゃる通りである。全体が収まる範囲で文字を大きくできるか調整してみるが、今回は、このままの文字の大きさとさせていただくかもしれない。

(末盛会長)

将来的には資料の5ページにある問12を削除することでフォントを大きく調整できるのではないか。高齢化も進んでいるため、フォントを大きくすると回収率も上がると考える。今後に向けて検討をお願いする。

(加藤委員)

小学校5年生、中学校2年生の調査のうち、小学校5年生は新しくはじめるということか。

(事務局)

資料4の成果指標案①及び③の部分に関連する。

(加藤委員)

小学校5年生が中学校2年生になった時にどういった回答をするのか、初年の結果からの意識の変化をみたいため、今後報告があると良い。

(末盛会長)

他にはいかがか。

次の議題に入る。

(5) その他

令和7年度(2025年度)第1回東海市男女共同参画審議会の開催予定

令和7年（2025年）6月

（事務局）

令和7年度第1回東海市男女共同参画審議会の開催を6月頃に予定している。詳細は正式に文書等で通知する。

（末盛会長）

全体を通して意見があればお願いします。

（早川純子委員）

性の多様性について、アンケートの中で職場の人に対してはある程度理解があることがわかるが、家族ではそこまで理解が進んでいないという結果についてご意見をいただきたい。

（金子委員）

いくら進んでいる国でも家族は最後の壁と言われている。特にゲイの方だと父親には言えないが母親には言えるなどが世界普遍的にある。時間がかかる部分ではある。しかし、まずこのように市町村の調査でも普通に聞かれるようになったということが感慨深い。

（加藤委員）

男性と女性の雇用形態について、女性は正規雇用が得にくいという問題があった。以前、東海市との協働事業で女性の再就職応援講座を行った。フォローアップは個別に対応するが10名中10名が泣いていた。家庭で理解を得られないという理由がほとんどである。まるで母親が働くことが悪であるという印象を持ってしまう。私は、姑や小姑など家族から怒られるが、働きたいという女性を目の当たりにしてきた。先ほどのように職場で理解は得られても家族や家庭から理解を得られないところは根が深く、根気強くやっていかなければいけない。行政の考えと現場に立つ我々とのギャップを感じている。

（末盛会長）

せっかく集まったため、一言感想でも良いのでご意見等いただきたい。

（上尾委員）

加藤委員の意見について、事業所をやっている立場からして、家庭からの声など知らない部分を知れてよかった。

（末盛会長）

早川委員いかがか。

（早川直義委員）

ロータリークラブは女性会員が2名で圧倒的に男性社会となっている。仕事をやりたいのであれば性別は関係ないという実感はあるが、そういった社

会の枠組みの中、ロータリーで女性が半分以上いる会が活動できるかという
と考えにくい部分がある。今日皆さんがお話しされたように女性が参画でき
る組織のフォーマットがあると女性も加入できるかと思った。本日の話を共
有していこうと思う。

(末盛会長)

蟹江委員いかがか。

(蟹江晃男委員)

弊社でも女性のための資格を取りながら進めている。中小企業として、具
体的な女性参画の取組について未知の部分があるため、勉強しながら自社で
も取り組んでいきたい。

(末盛会長)

荒木委員、学校の視点からご感想でも良いがいかがか。

(荒木委員)

たくさんある資料の中で、皆さんのご意見を聞き、なるほどと思った。学
校現場においても、男女共同参画、男女平等は表面的に扱う部分は当然ある
が、教員が意識を高く持てる社会にしなければならないと思った。それがこ
どもたちに自然と伝わっていくことになると考えながら聞かせていただい
た。

(末盛会長)

加来委員いかがか。

(加来委員)

町内会を一度経験したが、年齢が上の方は男尊女卑の風潮が会合の中でも
出てくる。例を言えば、女性はお茶出しだけするために会に何人か欲しいと
言われる。若い方だと男性も関係なく理解してくれる。そういった経験から、
今回聞いた内容を町内会でも共有できると良い。

(末盛会長)

蟹江委員いかがか。

(蟹江眞由美委員)

様々な気づきがあり勉強になった。

(末盛会長)

本日の議題をすべて終了した。それでは、事務局にお返しする。

(6) 閉会

(事務局)

末盛会長には、進行について感謝申し上げます。

以上をもって、令和6年度第3回東海市男女共同参画審議会を終了する。

長時間にわたり審議いただき感謝する。なお、会議録に関しては、会長了解の上で公開する。